

初めて書く論文は母語の日本語で！

“第17回若手研究者の初論文特集” 募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2018年（第67巻）に第17回「若手研究者の初論文特集」を企画し、下記要領で論文を募集します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。奮ってご投稿ください。

「分析化学」誌2017年（第66巻）第8、9号に“第16回若手研究者の初論文”12編が掲載されております。2004年の第53巻分から、優れた初論文の筆頭著者に対し、“「分析化学」若手初論文賞”を贈呈しております。第13回目の栄えある受賞者については、「ぶんせき」誌2017年第4号(160, 161ページ)をご覧ください。本初論文賞は今回も贈呈の予定です。

「分析化学」誌では、“報文”，“技術論文”，“ノート”，“アナリティカルレポート”などの各論文種目をもうけ、研究内容に応じて掲載できる体制を整えています。また「若手研究者の初論文」であることを考慮して、編集委員会もできる限り支援致します。

学術的審査を経て、伝統と歴史ある「分析化学」誌に掲載された論文は、著者にとって一生の宝であり、財産であります。このような学術論文は、人類の知的資産として永遠に受け継がれ、学術、社会の発展に大きく貢献します。額に汗して得た研究成果は、埋もれさせることなく広く公開されることにより、人類の役に立ち社会に還元されます。

自分のアイデア、研究成果を自由に表現できる母語の日本語で、初めての学術論文執筆にチャレンジしてください。先生や先輩に指導をいただいて、論文作成法を習得する良いチャンスにもなります。これは大変貴重な経験であり、次の新たなステップにつながることでしょう。このチャンスは一度しかありません。多数の方々からのご投稿をお待ちしております。

記

1. 特集の題目：第17回若手研究者の初論文特集

2. 応募資格：筆頭著者としての初めての投稿論文であること。もちろん、投稿は卒研究生、修士・博士課程院生に限らず、企業等の方々の投稿も大歓迎です。共著者にベテランの方が加わるのも一向に差し支えありません。

3. 論文の種類：報文、技術論文、ノート、アナリティカルレポート。

4. 審査方法：一般論文の審査方法に準拠。審査が特集号に間に合わなかった場合は通常の投稿論文として処理することもありますので、早めにご投稿ください。

5. 申込方法：投稿カード(Excelファイル)に所定の事項を記入(論文種目欄と特集名「8号若手初論文」を選択)し、「分析化学」編集委員会あてにお申し込みください。投稿カードのうち、題名、著者は暫定のもの、原稿予定枚数などの未定部分の記載は不要です。投稿も電子メールにてお願いします。テンプレートによる投稿要領(<http://www.jsac.jp/node/51>)を参照してお送りください。ご投稿の際にはホームページにて投稿規定・投稿の手引きを必ずご確認ください。

6. 投稿申込締切：2018年1月26日(金)

7. 論文原稿締切：2018年3月16日(金)

8. 掲載号：「分析化学」第67巻第8号(掲載論文多数等の場合、第9号掲載もあり得る)

9. 筆頭著者に掲載号を進呈し、「分析化学」若手初論文賞の審査対象とする。

10. 特集論文に関する問い合わせ先：〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号 (公社)日本分析化学会「分析化学」編集委員会(電話: 03-3490-3537, E-mail: bunkatoukou@jsac.or.jp, URL = <http://www.jsac.jp/bunka>)